



平成 22 年 4 月 30 日

各 位

埼玉県川口市栄町三丁目 2 番 16 号
株 式 会 社 A S J
代表取締役会長兼社長 丸山 治昭
(コード番号：2351 東証マザーズ)
問合せ先 専務取締役 青木 邦哲
(Tel:048-259-5111)

通期業績予想の修正及び来期業績予想について及び配当予想の修正

ならびに役員報酬減額に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、平成 22 年 4 月 30 日開催の取締役会において、平成 21 年 5 月 15 日の平成 21 年 3 月期決算発表時に公表いたしました平成 22 年 3 月期（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）通期業績予想及び配当予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

また、同時に平成 23 年 3 月期通期業績予想についてお知らせするとともに、この度の業績予想及び配当予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にするため役員報酬の減額をいたすことをお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1) 平成 22 年 3 月期連結業績予想数値の修正（平成 21 年 4 月 1 日～平成 22 年 3 月 31 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	1,350	110	110	52	776 円 96 銭
今回修正予想 (B)	1,236	54	58	18	279 円 19 銭
増減額 (B - A)	114	56	52	34	-
増減率 (%)	8.4	50.9	47.3	65.4	-
(ご参考) 前期(平成 21 年 3 月期)実績	1,252	157	160	81	1,221 円 88 銭

(2) 連結業績予想の修正理由

平成 22 年 3 月期連結会計期間において、デジタルコンテンツ事業におきましては、iPhone 向けアプリケーションを 2 本提供するとともにオンライン小説投稿サービス「のべろ！」のサービスイン等、来期以降への成長に向けて積極的に新規事業の立ち上げを行い、デジタルコンテンツ事業の売上高につきましては前年同期比 6.5%の増加となりました。

しかしながら、インターネットサーバサービス事業において、関連子会社との提携事業による売上が減少したこと等により、当連結会計期間につきましては当初の計画を下回りました。

更に、費用の見直しについては随時行っているものの、本社移転にかかる費用増ならびに前述の新規事業の立ち上げによる投資費用が発生したこと等により、売上高・営業

利益・経常利益・当期純利益に関しまして前回発表予想を下回る見通しとなったため、平成 22 年 3 月期の連結業績予想を修正するものであります。

(3) 平成 23 年 3 月期連結業績予想について

平成 23 年 3 月期における業績回復の施策としましては、大きく分けて 3 種類の施策を講じてまいります。

まず、1 つ目の施策として、新規事業の拡充による売上の増強を目指してまいります。平成 22 年 3 月期に 223 万件的ダウンロードを記録した iPhone アプリケーションにつきましては、当期中に 3 タイトル以上のリリースを目指してまいります。また、「のべぷろ！」を中心としたコミュニケーションサイトサービスにおいても更なるサービスの拡充により売り上げの増強を目指してまいります。更に当期中に売上・利益を計上することを目的とした新規事業を積極的に立ち上げてまいります。

次に、2 つ目の施策として、既存事業の売上の増強を目的とした営業体制の強化を行ってまいります。新規人員を採用することによる営業体制の強化ではなく、既存人員の有効活用により、費用増になることなく営業体制を強化し、売上の増強を目指してまいります。

そして 3 つ目の施策としては、費用項目一つ一つを見直し、更なるコスト削減を行っていくことにより、利益の計上を目指してまいります。

それら 3 種類の施策により、平成 23 年 3 月期における連結売上高は前期比 13.3%増となる 14 億円、連結営業利益は前期比 85.2%増となる 1 億円、連結経常利益は前期比 72.4%増となる 1 億円、連結当期純利益につきましては前期比 205.6%増となる 5,500 万円を予定しております。

詳細につきましては平成 23 年 5 月 14 日の決算発表時に発表させて頂く予定です。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
平成 23 年 3 月期業績予想	1,400	100	100	55	853 円 08 銭
平成 22 年 3 月期業績予想	1,236	54	58	18	279 円 19 銭
前期比	+164	+46	+42	+37	-
増減率 (%)	+13.3	+85.2	+72.4	+205.6	-

2 . 配当予想の修正

(1) 修正の内容

基準日	1 株当たり配当金 (円)		
	第 2 四半期末	期 末	年 間
前 回 予 想	0	600	600
今回修正予想		200	200
当 期 実 績	0		
前 期 実 績 (平成 21 年 3 月期)	0	600	600

(2) 配当予想修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益配分を経営の経営課題の一つと認識しており、株主資本の充実と長期的な安定収益力の維持に努めていくとともに、継続的に配当を実施していく方針として、継続的に 600 円の配当を行ってまいりました。しかしながら、当期純利益の下方修正を受け、平成 22 年 3 月期の期末配当予想につきましては、

200 円に修正させていただきます。

なお、平成 23 年 3 月期の期末配当予想につきましては、平成 22 年 5 月 14 日の決算発表時に発表させて頂く予定です。

3 . 役員報酬の減額

当社は、平成 22 年 3 月期の業績予想および配当予想の修正を真摯に受け止め、経営責任を明確にすべく、下記のとおり役員報酬の減額を実施いたします。

また、常勤監査役より監査役報酬の自主返上の申し入れがありましたので、あわせてお知らせいたします。

(1) 役員報酬の減額の内容

代表取締役会長兼社長	: 月額報酬の 15%を減額
専務取締役	: 月額報酬の 10%を減額
取締役	: 月額報酬の 7.5%を減額

監査役報酬自主返上の内容

常勤監査役	: 月額報酬の 5%を返上
-------	---------------

(2) 対象期間

平成 22 年 5 月から業績回復まで

この度は、平成 15 年 1 月に株式を公開して以来、初となる配当予想の減額並びに業績予想の下方修正を行ったことにつきまして、株主の皆様には誠に申し訳なく深くお詫び申し上げます。平成 23 年 3 月期におきましては役職員一同業績の回復に向けてまい進してまいりますので、今後ともご理解とご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(注) 上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記予想数値と異なる場合があります。

以上